

# 令和3年度事業報告書

社会福祉法人 至福の会

法人本部

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

むさしの園ホームヘルプサービス

サービス推進課

生活困窮者に対する相談支援事業

ひまわり保育園

むさしの森保育園

## 目 次

法人本部	P 1 ~ P 4
特別養護老人ホーム むさしの園	P 5 ~ P 8
むさしの園ショートステイ	P 9 ~ P 1 0
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 1 1 ~ P 2 0
ケアハウス むさしの園	P 2 1 ~ P 2 2
むさしの園デイサービスセンター	P 2 3 ~ P 2 4
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 2 5 ~ P 2 7
むさしの園在宅介護支援センター	P 2 8 ~ P 3 2
むさしの園ホームヘルプサービス	P 3 3 ~ P 3 6
サービス推進課	P 3 7 ~ P 3 8
生活困窮者に対する相談支援事業	P 3 9 ~ P 4 0
ひまわり保育園	P 4 1 ~ P 4 2
むさしの森保育園	P 4 3 ~ P 4 5

# 本部事業報告書

社会福祉法人 至福の会

## 1 社会福祉法人至福の会・法人の概要

- (1) 主たる事務所の所在地  
埼玉県狭山市南入曽1044番地1
- (2) 代表者名  
理事長 大野裕明
- (3) 法人認可年月日  
平成9年3月19日
- (4) 法人認可番号  
指令高福第1745号
- (5) 法人設立登記年月日  
平成9年3月21日

## 2 法人の行う事業

### (1) 第1種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	特別養護老人ホーム(従来型)	90名
2	特別養護老人ホーム(ユニット型)	100名
3	ケアハウス	20名

### (2) 第2種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	ショートステイ	10名
2	デイサービスセンター(入曽)	60名
3	デイサービスセンター富士見	45名
4	在宅介護支援センター	
5	ホームヘルプサービス	
6	生計困難者に対する相談支援事業	
7	認可型保育園 むさしの森保育園	90名
8	一時預保育園 むさしの森保育園	10名

### (3) 公益を目的とする事業

No	施設種別	利用定員
1	居宅介護支援事業	
2	企業主導型保育園 ひまわり保育園	19名

### (4) 職員数260名

### 3 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	理事	監事	
令和3年6月4日	6	2	決議事項 1 令和2年度事業報告(案)について 2 むさしの森保育園の前期末支払資金残高の取崩(案)について 3 令和2年度決算報告(案)について 4 令和2年度監事報告について 5 給与規程、特定個人情報取扱規程、非常勤就業規則の一部改正(案)について 6 勤怠管理の変更について 7 定期評議員会の開催日と議題について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和3年6月22日	6	2	決議事項 1 次期任期の理事長選任について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和4年1月28日	6	2	決議事項 1 経理規程の一部改正(案)について 2 苦情解決に関する規程(案)について 3 第1次補正予算(案)について 4 複数年契約について 5 定款施行細則の一部改正(案)について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和4年3月25日	6	2	決議事項 1 各種規程の一部改正(案)について 2 令和3年度第次補正予算(案)について 3 令和4年度事業計画(案)について 4 令和4年度当初予算(案)について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について

#### 4 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	評議員	監事	
令和3年6月22日	7	2	書面決議事項 1 令和2年度決算報告について 2 監事監査報告について 3 次期任期の理事、監事の選任について 評議員全員の同意書を頂きました。

#### 5 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議・議事事項
令和3年4月5日	3	1、委員長の選出の件 2、評議委員選出の件

#### 6 監事監査の状況

監査年月日	監査内容及び結果
令和3年6月4日	<p>内 容</p> <p>社会福祉法人至福の会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人至福の会の財産の状況について「監事監査重点項目」に従って監査を実施した。</p> <p>結 果</p> <p>令和3年度の社会福祉法人至福の会の事業報告、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び決算付属明細表は、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適性であった。</p>

特別養護老人ホーム むさしの園

事業所目標	【1】稼働率 平均98%/年 ⇒93.4% 未達
	【2】人財定着 離職率 前年対比20%減 ⇒2020年度 19.1% 2021年度 17.6%

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
【1】特養稼働(人数)	83.3	80.3	82.5	79.6	79.7	79.8	81.1	79.9	85.1	87.7	83.9	68.5	971.4	81.0
【1】特養新規申込	6	4	6	6	5	5	4	9	4	6	9	6	70	5.8
【1】ショート稼働	11.5	12.3	13.8	13.5	16.5	13.4	13.1	13.8	12.4	10.5	11.0	7.3	149	12.4
全体稼働	94.8	92.6	96.3	93.1	96.2	93.2	94.2	93.7	97.5	98.2	94.9	75.8	1121	93.4
退居	3	4	3	3	2	3	3	2	0	4	4	11	42	3.5
入院(件)	7	5	7	4	7	8	4	5	4	3	14	14	82	6.8

## 【稼働】

下期より入院原因分析による原因改善と相談業務、受け入れ態勢に関する見直しを実施  
食形態の見直しにより改善の兆しは見られたが、年度末の入院退居の増加により通年で目標に対して未達  
相談員2名体制ではありますが、入居とショートに業務を分担している為、非効率な相談業務が見られる  
ことから業務分担を辞め、2名とも入居とショートを対応できる仕組みへ移行  
ショートのリソースコントロールは、ショート担当チームのリーダー以上が対応できるようにも改善を予定  
受け入れ態勢については、いつでも受け入れができる体制づくりと入居契約には、相談員のみでなく、主任  
以上の責任者が対応できるように指導し改善。

上期入院退居原因で多かった誤嚥について、食形態、食堂レイアウトを見直し

上期入院件数38件中 肺炎による入院24件 下期 入院24件中 肺炎による入院7件(コロナ除く)

## 【職員の定着】

退職者数は、12名 離職率 17.6%

内訳 結婚による引っ越し 3名 その他(コロナ)1名

家庭の事情 1名

他業種等転職希望 2名

疾病による 5名

前年対比1.5%減ってはいますが、全国平均より高い離職率となっています。

退職理由は不可避な理由もありましたが、具体的なヒアリングができていない内容も多く、今後の育成・指導によって改善を目指します。



利用者様状況

① 食形態別人数

本年度より、ソフト食を導入した。  
 常食・常菜 17名 軟飯・常菜 4名  
 軟飯・刻み 10名 軟飯・超刻み 1名  
 粥・常菜 3名 粥・刻み 15名  
 粥・超刻み 3名 粥・ソフト 4名  
 粥・ミキサー 1名 ミキサー・ソフト 5名  
 全ミキサー 7名 流動 3名

② 療養食喫食者人数

糖尿食 2名 心臓病食 3名

栄養給与量

熱量	蛋白質	脂質	Ca	鉄
1585	62.3	41.5	704	7.2
kcal	g	g	mg	mg
VA	VB1	VB2	VC	
763	1.41	1.21	109	
μgRE	mg	mg	mg	

行事食

季節を感じられるよう行事食を提供した。  
 ・四季折々の行事  
 端午の節句、七夕、クリスマス、  
 正月、バレンタイン etc  
 ・毎月 誕生日食、特養喫茶店  
 ・その他 各部署イベント、  
 みんなの日曜日、  
 お祭りメニュー  
 敬老会（祝い膳） etc

職員研修

新型コロナウイルスが流行しており、狭山市内施設栄養士会議は開催中止となり、対面型の外部研修等も参加困難な状況のため、オンラインを活用した研修に参加・報告書を提出し、自己研鑽に努めた。

嗜好調査

特養は回答可能な利用者様を対象に聴き取り調査、ケアハウスは利用者様自身がアンケート用紙に記入する形式で実施した。

- ① 食事は楽しみですか？②食事（ご飯・お粥、おかず）の硬さはいかがですか？  
 ③食事の味付けはいかがですか？④食事の量はいかがですか？  
 ⑤今までに出てきた料理で特に美味しかった料理は？  
 ⑥今までに出てきた料理で特に美味しくなかった料理は？  
 ⑦食事についてどう思われますか？（満足度）⑧その他意見、希望

硬さ・味付け・量ともに7割以上の方にちょうどいいという評価を頂けた。全体の満足度に関しては不満を1割以下に抑えることができたが、まあまあが多かった。満足という方が増えるよう、意見を参考により満足度を向上していく。

<誕生日食の内容報告>

月	内容
4月	たけのご飯、鶏の梅しそ天ぷら、かつおたたき、ふきの煮物、菜の花の酢味噌和え、水菓子、つみれとかいわれのお吸い物
5月	あさりの炊き込みご飯、桜海老クリームコロッケ、華茶巾、ぜんまいの煮物、そら豆の塩茹で、メロン、とろろ昆布と花麩のお吸い物
6月	枝豆ご飯、白身魚天ぷら&夏野菜のかき揚げ、華いか焼売、揚げ茄子の煮浸し、しろなのおかか和え、水まんじゅう&アメリカンチェリー、茗荷とそうめんのお吸い物
7月	あなご散らし、冷製豚しゃぶ、野菜巾着の炊き合わせ、スイカ、花麩とあさりのお吸い物
8月	五目ご飯、フライ盛り合わせ、鶏肉の野菜巻き、夏野菜の煮浸し、モロヘイヤのお浸し、ロールケーキ(メロン・スイカ)、手毬麩と三つ葉のお吸い物
9月	きのこの炊き込みご飯、かぼちゃコロッケ、豚の角煮、炊き合わせ、小松菜のごま和え、梨、あさりと花麩のお吸い物
10月	栗おこわ、ぶりのゆず味噌焼き、錦糸焼売、秋の炊き合わせ、ほうれん草の白和え、柿、生麩とそうめんのお吸い物
11月	鮭といくらの親子ご飯、鶏肉となすの揚げ浸し、ほうれん草の柚子風味和え、ラフランス、花麩とあさりのお吸い物
12月	五目ご飯、かにクリームコロッケ&ホタテフライ、だし巻き玉子、つみれとかぶの炊き合わせ、白菜の磯和え、ケーキ(ストロベリー・チョコ)、かまぼこと白玉麩のお吸い物
1月	赤飯、牛肉の八幡巻き、華いか焼売、野菜巾着の含め煮、春菊のくるみ和え、いよかん、そうめんと花麩のお吸い物
2月	感染症流行により、イベント開催が困難になったため中止
3月	桜ちらし寿司、天ぷら(3種盛り)、ふきとつみれの炊き合わせ、甘夏、手毬麩と椎茸のお吸い物

むさしの園ショートステイ

### 利用者様状況

・年間利用実績	4, 539日	・平均要介護度	2.8
(男性)	2, 378日	・平均年齢	84.5歳
(女性)	2, 161日	・1日平均利用数	12.4人
・新規利用者数	39人	・送迎回数(片道)	1, 013回

### 利用者様本位

利用者様本人、ご家族のご要望に応じた対応を行っています。また、一人ひとりとコミュニケーションを取り、利用者様本位に努めています。  
施設のスケジュールに沿った生活リズムをご案内しますが、ご希望により、居室で過ごす、テレビを見る等、自由に過ごしていただいています。

- ・在宅困難者(長期利用) 19人 月に20日以上のご利用、または連続して30日ご利用の方
- ・毎月利用日固定者 22人 予め固定した日程で継続して予約しています
- ・夫婦同時利用 5組 2人部屋を夫婦同室でご利用いただきました

### 専門性の追求

特養のチームケアに基づき、自立度の高い方や認知症の進行している方等、ご本人に合った対応を行っています。また、ご本人の医療ニーズに合わせた看護・処置を行い安心できる生活を送っていただけるよう努めています。

- ・胃ろう : 2名 経管の接続・解除、栄養の流入を1日2回実施
- ・ストマ対応: 2名 ストマからの排便、洗浄、および交換を随時実施
- ・バルン対応: 3名 バルンカテーテルからの排尿確認、バッグの洗浄
- ・インシュリン対応 : 2名 インシュリン注射を適宜(1日1回~3回)
- ・ショートステイ利用から特養への入所: 7名
- ・視覚障がい者の対応: 2名

### 地域連携、広域対応

定期的に居宅支援事業所を訪問し、利用者様・新規利用希望者の状況を把握し地域の要望にお応えしております。また、市役所からの措置依頼も随時受け入れています。

- ・措置依頼 : 1件受入れ
- ・狭山市以外からの利用: 5名(入間市4、所沢市1)

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

今年度の目標（事業所）

- ・各ユニットで担当者を定め、職員全員が24Hシートの作成に取り組み、入居者様に寄り添った介護を目指した。
- ・ケアマニュアルが完成したためユニットごとにマニュアルの中から目標を立て、実践し、職員に浸透を図った。
- ・感染症に対し各職員が節度を持った行動を呼びかけ、「持ち込まない」「拡げない」を徹底した  
(稼働)
- ・年間入居者月平均数 96、0名
- ・入居申し込み月平均件数 4、1件
- ・事業所訪問平均月 20件  
訪問範囲 狹山市、所沢市、入間市、清瀬市、練馬区、他

今年度の目標（職員）

- ・法人理念を浸透させるため、申し送り時にクレドの唱和を行い、施設理念の浸透を図った。
- ・離職率年間目標 10%未満としたが、わかば全体 8.5%であった。職員面談を、介護主任が中心となり行い、不安を解消し働きやすい環境を作ることができた。

研修

- ・コロナ禍のため、オンラインにて内部研修を実施し、職員が学べる体制を作った。外部研修もオンラインを中心の参加になることが多かった。
- ・実務者研修参加  
(法人全体) 7名うち、わかば 5名

リスクマネジメント

- ・受診を伴う事故 9件  
入居者様自身で動かれ転倒 4件  
誤嚥 2件、その他 2件となっている。骨折事故は転倒時の 1件となり、前年より減っている。
- ・身体拘束は体調不良にて点滴を行う際、腕の拘束が 2件あった。身体拘束ゼロに向け、3要件の確認を徹底し、安易な拘束につながらないように努めた。

地域における交易的な取り組み

- ・今年度新型コロナウイルス感染症のため、地域講座等の企画ができなかった。
- ・法人内むさしの森保育園園児による慰問があり、子供たちのダンス、歌を聴き皆様とても喜ばれていた。

今年度の目標 (入居者様)

- ・24時間シートをもとに、入居者様一人ひとりがゆったりと穏やかに毎日を過ごして頂けるような環境作りに努めた。
- ・尊厳と感謝の念を持ち、受容・傾聴の姿勢を心がけ、信頼関係を築けるよう努めた。

今年度の目標 (職員)

- ・職員同士のチームワークを大切に、何でも相談し合え、明るく笑顔の多いユニットを目指し、信頼関係を築けるように努めた。
- ・ユニット会議を毎月実施し、積極的に発言できる職員が増えた。

行事

- ・椿ユニットとして、運動会や季節のおやつレク、施設の敷地に咲いている植物を見て季節を感じて頂いた。新しい行事として笛掘りを行い大変喜んで頂いた。引き続き新しいレクリエーションの開催に向けて入居者様の意見を伺い、職員で話し合い実施していく。

感染症への取り組み

- ・感染症への知識を深め、2か所の窓を開けた換気を2時間に1度、手すりの消毒を1日2回実施し感染症予防に努めた。
- ・職員は手洗い、消毒、休憩中の黙食などを徹底し、自身の健康管理に努めた。

リスクマネジメント

- ・褥瘡ゼロを目指していたが、褥瘡ができてしまったご入居者が2名いた。しかし、看護師や医師と連携を図り、職員が統一した体位交換や処置を行う事で快方へ向かっている。

ユニットケアの取り組み

- ・月1回のユニット会議の中で24時間シートの内容が適切かどうか確認しあったり、職員間での意見交換を行ったりし、ユニットケアの推進に努めた。ケアマニュアルの項目ごとに、いまユニットで行っているケアが正しいかどうかをユニット会議で話し合った。

今年度の目標 (入居者様)

- ・新規入居者様のフェイスシートを把握し、ユニット会議で2か月間その方のご様子や対応等を周知出来るように時間を持ち、検討を行った。
- ・面会時家族様にも情報提供を求め24時間シートに活用した。

今年度の目標 (職員)

- ・資格取得に向けて、シフトや休みの調整をし、円滑に受験が出来るように対応をした。
- ・内部研修の内容を参考にケアマニュアルの目標を立て、入居者様により良い生活を送れるよう支援した。

感染症への取り組み

行事

- ・月に一度、レクリエーションを企画し、季節感のある行事を行った。
- レクリエーション委員が企画し、職員全員で劇やダンスをし、入居者様に楽しい時間を提供出来るよう努めた。

- ・ユニット内の換気は気温が高い日は常に窓を開け空気の入替えをしました。寒い日でもこまめに換気を行った。
- ・職員はこまめに手指消毒を行い、マスクやフェイスガードを装着し感染予防に努めた。

リスクマネジメント

- ・ヒヤリハットをこまめに作成する事で、事故へ繋がる可能性のあるリスクを周知することに努めた。
- ・事故が発生する前にリスク対策を入居者様ごとに考え、出来るだけ未然に防げるように対応をした。

ユニットケアの取り組み

- 毎月のユニット会議で、24時間シートの見直しを行い、新たな対応や再周知を担当から伝えてもらい情報共有をした。
- ・各職員より議題を出してもらい、情報を共有しより良いケアに繋がるように意見交換をした。



今年度の目標 (入居者様)

- ・家族様と会えない寂しさや不満から、落ち着かない入居者様には、傾聴の時間を設けて想いを共有することで不安の解消に努めた。
- ・職員も環境の一部と意識して、入居者様のペースに合わせて落ち着いた雰囲気の提供を心掛けた。

今年度の目標 (職員)

- ・毎月のユニット会議を実施し、職員一人ひとりが積極的に意見を出し合えた。
- ・24Hシートを基に、入居者様の意向や好み、ケアなどを、メンバーで確認し合い、統一したケアを心掛けた。

行事

- ・外出機会が無くなっている為、それに替わる季節に合わせた企画を実施した。フルーツ狩りや芋掘りを中庭で行い、外出した気分を味わってもらえるように努め、入居者様からも好評だった。
- ・誕生日当日に、ユニットでお祝いすると共に、入居者様同士の交流を図れた。

感染症への取り組み

- ・基本的な手洗い、うがい、消毒、換気の対策を徹底し行った。
- ・看取り期の面会は、人数や時間制限を設けるなど感染対策を徹底した上で、家族様と最期の時間を一緒に過ごせ大切な時間にできるよう努めた。
- ・掃除や換気を行い、清潔な環境を保つよう心掛けた。

リスクマネジメント

- ・事故委員会を中心として、ヒヤリハットや事故報告書を活用して、事故原因から対策を考えて、再発防止に努めた。
- ・入居者様一人ひとりの心身の状況把握、日常の過ごし方などの情報共有を行い、居室やフロア内の安全な環境整備に努めた。

ユニットケアの取り組み

- ・面会の制限がある中で、以前に比べて家族様との直接の関わりが減ってしまった分、家族様と電話連絡した際は、日頃の入居者様の様子を詳しく報告するように努めた。入居者様の希望や心身の状態から、嗜好品の依頼や対応の仕方を家族様に伝えた。

今年度の目標（入居者様）

- ・ 普段と違う変化があった時は、記録に残し、必要に応じ他職種と連携し対応することができた。
- ・ 体を動かす作業レクリエーションを増やし、移乗を全介助で対応していた方がつかまり立ちが出来るようになった。

今年度の目標（職員）

- ・ 必要最低限の外出に止め、マスクの着用、手指消毒の徹底する事でユニット内に持ち込まない事ができた。
- ・ 学生の実習生、技能実習生と指導する機会が多く技術面での振り返りができた。

行事

- ・ 毎月2回桜ユニット内でのレクリエーション活動を実行できた。
- ・ 外に出ることができなかつたため、代わりにクラフトレクリエーションを増やした。
- ・ 天気の良い日にベランダで日光浴をした。
- ・ 職員が創作した劇やダンスを行いなど、新しい事にも挑戦した。

感染症への取り組み

- ・ コロナ、インフルエンザ共に日々対策を徹底したことで罹患することなく1年を過ごすことができた。
- ・ 入院中に疥癬の診断があった方がいたが、退院後に多職種で協力した感染対応を行った。また、その際の経験を今後活かす。

リスクマネジメント

- ・ リモートでの研修に参加するだけでなく、勉強してきたことをユニット職員に伝え、入居者様に対する介助方法などを改善した。
- ・ ヒヤリハット報告が前年度よりも少なくなっていたので、安全のため各職員が意識して、予測できる事故を減らす努力をした。

ユニットケアの取り組み

- ・ 24Hシートを作成、更新し、ユニット職員以外の職員が見てもその方の1日がわかるように担当が意識し期限内に完成させた。
- ・ 毎月、ユニット会議を開催し、24Hシートを活用しながら、入居者様1人ひとりの情報共有を行った。

今年度の目標 (入居者様)

- ・温かいものは温かく提供を心掛けた。食事のメニューを読み上げるなどし、食べる楽しみをイメージ出来るように力を入れた。
- ・朝食時にお茶と牛乳を提供する事によりトータル水分量の増加に繋げる事が出来た。

今年度の目標 (職員)

- ・入居者様への課題に対し職員同士で積極的にコミュニケーションを取り、情報共有に努めた。
- ・職員間で意見交換をし、入居者様の1日を見直し、24Hシートの更新を行えた。

行事

- ・季節感を感じるような装飾とレクリエーションを考えて定期的に行うことが出来た。
- ・誕生日食の時にユニット合同で食事をする場面を作り入居者様同士の交流の場を提供することが出来た。来年度は演出に力を入れ、楽しんでもらえるように努力する。

感染症への取り組み

- ・職員、入居者様の手指アルコール消毒の実施。
- ・こまめに手洗いをを行い、時間を決め、定期的に換気を行う事が出来た。
- ・職員の体調不良時などユニット内で連携を取り勤務変更などの対応が出来た。

リスクマネジメント

- ・事故発生後の対策に対して一人ひとりの考えを聴取し、優先順位などを共有する場を設けた。
- ・職員間でヒヤリとする感覚にズレが生じていたため、ユニット会議で入居者様の日々の過ごし方を職員で共有し、事例をあげ、考え方の統一を行った。

ユニットケアの取り組み

- ・職員一人ひとりが入居者様の立場に立ち、その思いに寄り添えるように生活を把握し、ケアの方法を考えられた。
- ・入居者様の状態変化を観察しつつ看取り期など状況に合わせたケアの方法をユニットで検討し実施することができた。

## 令和3度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 医務

### 今年度の目標（入居者様）

- ・ユニット職員から入居者様の報告を受け、その都度対応することが出来た。
- ・家族様への連絡は、ご本人の体調の変化などあった時はこまめに連絡をすることが出来た。

### 今年度の目標（職員）

- ・医務内での申し送りノートの活用がしっかり出来た。その場にはいない職員に対しても後日申し送りし情報共有できた。
- ・看護職員で都度話し合い同じ方向性をもって、対応の統一が出来た。
- ・医務内では誰もコロナウイルス感染症に罹患せず業務にあたることができた。

### 他職種連携

- ・他職種で都度コミュニケーションを取り、情報を伝えていくことが出来た。
- ・看護職としての意見をしっかりと伝え、他職種からの意見を受け入れる事が出来た。

### 看取りに対する思い

- ・他職種と家族様と一緒に話し合う機会を持ち、十分に相談し、入居者様が最後まで安心して、統一したケアが受けられるようにサポートできた。
- ・「食べる」能力を見極め、入居者様の身体のペースに合わせながら過ごして頂くことが出来た。

### リスクマネジメント

- ・誤嚥性肺炎の予防と早期発見に努め、介護職へのアドバイスが出来た。
- ・事故報告書の確認や会議にて助言や提言を行うことが出来た。
- ・保清保湿に努めるよう職員へアドバイスし、褥瘡の徴候があれば早めに対応していたが、それでも発生してしまったものに関しては適宜対応し悪化を防止することが出来た。

### ユニットケア

- ・家族様へ連絡、面談などを介して「暮らしの継続」への希望を聞き取り支援につなげる事が出来た。
- ・入居者様を第一に考え、過ごしやすく安心して生活できるように働きかけることが出来た。
- ・ご本人が食べたい物をなるべく食べられるように検討し提供した。

栄養管理

食種状況

主食	常食	軟飯	粥	ミキサー粥
	45名	16名	26名	7名
副食	常菜	刻み	ソフト	ミキサー
	58名	10名	23名	3名

(令和4年3月15日現在 95名)

うち1名は経管栄養)

給与栄養量

	エネルギー	蛋白質	脂質
平均	1550kcal	65.2g	43.4g
基準量	1497kcal	52.3g	48.8g
充足率	103.5%	124.7%	88.9%
	食塩量	カルシウム	水分
平均	8.7g	647mg	1154.3g

1人1日あたり平均 (R3/4/1~R4/3/31)

行事食

○誕生食…旬の食材や普段食べられないお刺身等を提供し好評を得る事が出来た。

○喫茶店…テーマを一部変更し実施。マンネリ化を回避する為、品数を増やし入居者様の楽しみの一つとなるよう店舗へ相談等を密に行った。

○その他…毎月のセレクトメニューの実施、敬老の日・クリスマス・お正月など季節に合わせた食事の提供も積極的に行った。

○原材料費や運送コストの値上げにより、食材費が高騰している為、調味料等の見直しや物価変動への意識を張り食材費の抑えながらも美味しい食事の提供ができた。

衛生管理

○新型コロナウイルス対策

施設発生時の対応について、食事提供・配膳のシミュレーションや打ち合わせを念入りに行った。ケアラー事業においても、感染防止に努め食事の提供を行った。

○発熱者の対応について、マニュアルの見直しや改訂を行う事で瞬時に対応出来る環境を作った。

○衛生管理において、普段からの呼び掛けや注意を行う事で個人の意識強化を図る事が出来た。

多職種連携

○ユニットケア推進委員会へ参加し委員会メンバーと意見交換を行いながらケアマニュアル作成。

○24時間シートの作成を促せるよう各ユニット担当に分かれ、進捗状況等の確認を行った。サービス担当者会議でも活用されるようになり、食事場面以外の部分も見えるようになった。

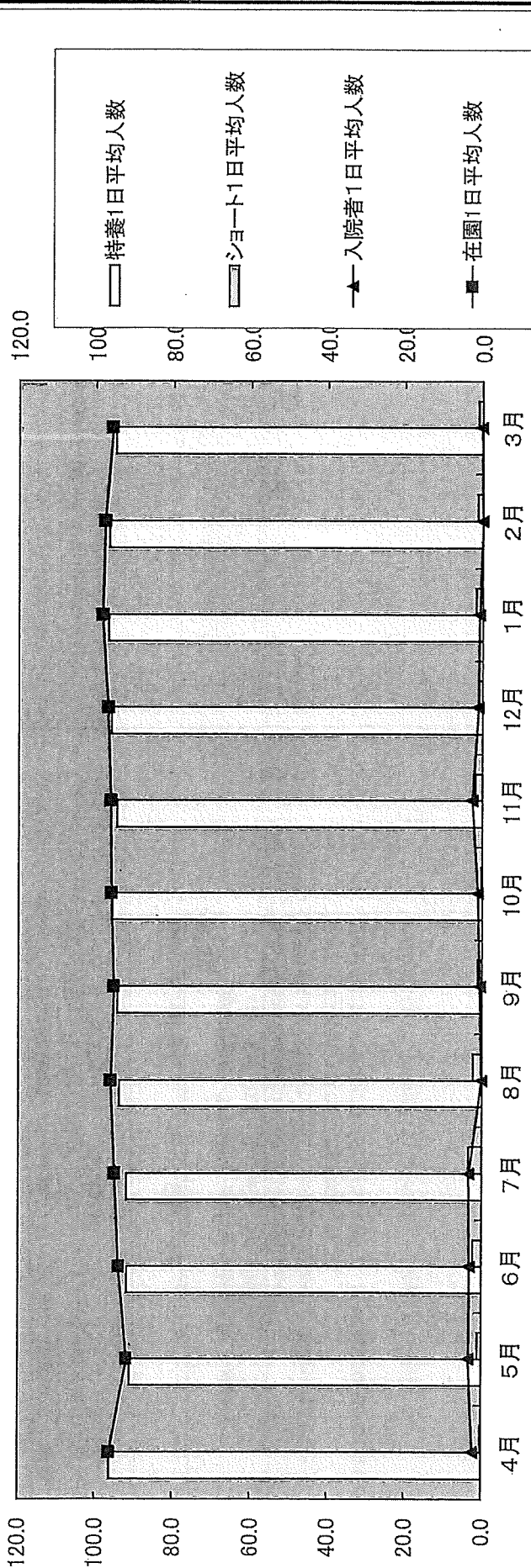
人材定着・育成

○調理や盛り付け・味付け等に留意し、美味しい食事の提供を心掛けた。

○食形態の切り替えや配膳時間が変更となり、作業確認・分担を見直す事で必要となる調理器具の購入を行った。

○業務を共有する事で欠員があった際、担当外でもフォローができる体制を作った。

# 在園者実績人数



令和3年度	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養1日平均人数	95.9	96.3	91.0	91.9	91.9	93.9	94.4	95.9	94.6	96.2	96.9	96.8	95.0	94.6
ショート1日平均人数	1.2	0.2	1.0	2.2	3.3	2.3	1.0	0.2	1.8	0.9	1.6	1.2	1.0	1.4
入院者1日平均人数	0.9	2.3	3.3	3.1	3.4	0.1	0.5	1.1	2.6	1.1	0.8	0.0	0.2	1.5
在園1日平均人数	97.1	96.5	92.0	94.1	95.2	96.2	95.4	96.1	96.4	97.1	98.5	98.0	96.0	96.0
延べ面会者数	105.5	195	201	171	235	95	128	145	180	225	135	11	15	144.7
特養月間延べ人数	2916.6	2,889	2,821	2,757	2,850	2,912	2,833	2,973	2,837	2,981	3,004	2,710	2,946	2876.1
ショート月間延べ人数	34.7	5	28	64	101	71	29	6	55	23	51	33	30	41.3
延べ入院者日数+入退院前後日数	95.4	39	189	179	126	117	138	118	180	96	95	54	154	123.8
入居者数	28	1	2	3	2	2	5	0	1	1	3	1	1	22
退居者数	21	5	2	1	2	2	2	0	1	2	2	3	2	24
申込者数	24	7	5	5	3	8	5	2	2	4	2	2	4	4.1
待機者数	138	24	23	24	23	31	36	36	33	33	34	35	35	35

ケアハウスむさしの園

事業所名 ケアハウスむさしの園

利用者状況(定員20名)

(R4年3月31日現在)

入居状況 男4名 女13名 (合計17名16世帯)  
 平均年齢 86.9才 (男86.8才 女86.9才)  
 最高年齢 96才(女)  
 最低年齢 71才(男)

年齢層	男	女	計
70～74	1	1	2
75～79	0	0	0
80～84	0	4	4
85～89	0	3	3
90～94	2	3	5
95～98	1	2	3
	4	13	17

利用前の生活状況

利用前の居場所	男	女	計
単身	3	5	8
夫婦	1	6	7
子供と同居	0	2	2
	4	13	17

年金受給状況(2つ以上受給者あり)

年金の種類	男	女	計
国民年金(老齢)	1	2	3
(老齢基礎)	0	6	6
(通算老齢)	0	2	2
厚生年金(老齢)	3	2	5
(通算老齢)	0	1	1
(遺族)	0	4	4
	4	17	21

介護認定

	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護4
男	2	1	0	1	0
女	1	0	7	3	1
計	3	1	7	4	1

未申請 女1

研修

委員会(身体拘束4回事故防止5回感染症対策4回) 研修(感染症3回事故防止2回虐待防止2回非常災害1回)

入居・退去状況

入居者 4人 退去者 6人

①新入居者4名の入居前の住所

・狭山市2人 横浜市1人 岐阜県1人

②申し込み理由

・独居生活が心配

・ケアハウス入居後、むさしの園DSを利用したい

③退去理由

・特養むさしの園1人 わかば3人

・特養他県1人 逝去1人

利用前の生活地域

	男	女	計
狭山市	2	7	9
所沢市	0	1	1
横浜市	0	2	2
千葉市	1	1	2
新宿区	1	0	1
小平市	0	1	1
羽島郡市	0	1	1
	4	13	17

介護保険保険者

地域	男	女	計
狭山市	2	7	9
所沢市		1	1
横浜市		2	2
千葉市	1	1	2
新宿区	1		1
羽島郡市		1	1
	4	12	16

行事・日常生活

感染症対策強化のため、施設行事・買い物ツアーは中止となりました。

3密を避け、食卓にはパーティションを設置し黙食を心掛け、1日2回検温を行い健康管理に努めました。

蔓延防止解除後は、感染症対策をしっかりと行い、少人数制でクラブ活動を開始し日常生活を取り戻し明るいケアハウスになりました。



むさしの園デイサービスセンター

部署目標 (令和3年度)	【1】月延べ平均人数900名	未達
	【2】人材定着・職員への指導	未達
	【3】行事内容について	達成
	【4】研修内容について	達成
	【5】チーム（委員会）活動について	達成

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均
1日平均	28.8	28.8	27.9	27.1	27.6	29.4	30.5	31.0	29.3	26.0	18.5	29.1	27.8
月延べ人数	730	731	705	711	698	741	766	767	668	621	259	748	678.8
登録人数	129	132	133	93	94	94	97	101	101	99	103	105	106.8
結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
廃止	0	0	2	26	1	6	1	0	5	7	5	2	55
新規	7	3	0	4	4	6	5	4	2	3	4	5	47

- 【1】目標達成のため、営業活動を月に既存・新規居宅20件以上訪問、毎月新規居宅2件開拓。  
しかし登録廃止人数が予想以上に上回り、また新規利用者が重度の方が利用してすぐに廃止となったことや利用予定がキャンセルになったケースもあったことで伸び悩む。  
冬の体調不良やデイ休業ということもあり、今年度での目標達成は叶わず。  
※7月に登録者人数を精査した為、廃止26名となる。その後は毎月精査を実施中。
- 【2】令和3年度退職者6名、離職率23.1%と20%を超えてしまう結果となった。  
転職希望が2名、その他心身面の不調等による。転職希望者に対しては相談員や管理者との面談を実施したが、本人の意向が強かったこともありやむを得ず退職となるケースがあった。  
次年度では退職数を減らせるよう、職員面談を引き続き実施していく。
- 【3】感染対策を毎回実施し、計画通りにイベント行事を開催することができる。  
また計画とは別途で新規イベントとして芋煮会を実施、非常時の炊き出しも想定することができ職員の意識向上、利用者の楽しみとしても成功をおさめられる。
- 【4】昨年度よりオンラインを導入後、デイサービス職員に必要な研修を毎月実施。  
必ず研修報告書を提出・確認することで、職員達の知識・意識向上に努めることができる。
- 【5】委員会活動を予定通り実施、美化・事故対策等の職員間の協議を図ることができた。  
一部の活動で当初の計画通りに実施することが難しかった為、活動内容を変更して実施することで計画の遂行を実施するように努める。

むさしの園デイサービスセンター富士見

### 利用者様状況・概要

「狭山市介護予防・日常生活支援総合事業」と「通所介護」のサービスを提供しました。感染症予防対策に重点を置き、「3密」を避け、利用者様、ご家族の不安軽減を図りながら、自立した日常生活を営むことができるように支援しました。（別紙参照）

### チーム活動

#### <挨拶・接遇チーム>

・職員朝礼で曜日ごとに「クレドの唱和」「言葉遣い・身だしなみ」「ストレッチ」等実施しました。また、隔月ごとに接遇目標を掲示し、職員の士気向上に努めました。

#### <レクリエーションチーム>

・脳トレドリルの発行（1回/月）、脳トレプリントの差し替え（1回/週）、感染症予防に対応した個別制作レクを毎月実施しました。

#### <フロアインテリアチーム>

・「季節の吊るし飾り」や「リボンアート」による空間を意識した装飾を行いました。  
・作品展に向けオリンピックカラーの「花壁画」を利用者様と一緒に制作しました。

#### <お誕生日チーム>

・お誕生日会を開き、写真を贈呈しました。

#### <体力向上・気分向上チーム>

・感染症拡大で外出機会が減り、体力・筋力の低下が課題でした。午後の体操時間を増やし、曲に合わせたリズム体操を取り入れました。楽しく参加して頂けるように、馴染みのあるテンポの良い曲や盆踊りなど季節を感じて頂ける曲選びを心掛けました。

### 人材育成・自己実現

・今年度の採用は、介護職3名、ドライバー1名でした。退職者は6名(定年3名含)でした。

・新人職員の教育では、マニュアルとチェックリストの活用、個別面談など細やかな指導を心掛けました。また、職員皆で声を掛け合い、育成することを意識しました。

・離職率 27.3%

### 会議・研修

#### <デイ会議>

・感染症予防のため、月1回紙面回覧によるチーム進捗報告、利用者様の状況確認、日常業務の情報共有と見直し等を行い他種職間の連携を図りました。

#### <内部研修>

・オンラインによる研修を実施しました。  
・研修内容を「特養・デイサービス・在宅支援」と「事務系」に分け、職種に合わせた内容で行いました。  
・研修参加後は、研修受講報告書を記入し、研修の振り返りを行い、知識の習得に努めました。

### 認知症ケア

・大型スクリーンを活用し、「昭和の映像」や「昭和の道具」を写し出し、懐かしい暮らしを思い出して頂く「回想法」によるケアを定期的に行いました。

・感染症予防を行いながら、少人数で「カルタ」や「テーブルゲーム」を行い、刺激のある楽しい時間の提供を心掛けました。

要介護度別 利用状況

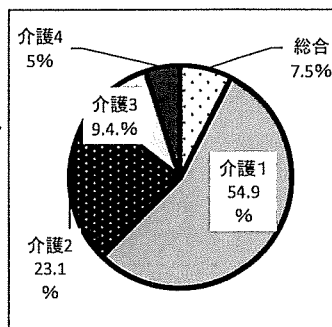
令和3年度、日常生活支援総合事業は、前年同様、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、利用を控える利用者様が多くなりました。また、要支援の新規相談件数は、減少傾向となりました。

介護給付の介護度別利用率は、要介護1が7.2%増、要介護2が5.5%減、要介護3が1.7%減となりました。

年間の月延べ平均人数は、889名と前年との比較で32名増となりました。月延べ平均人数の増加に伴い、令和4年度4月から事業所の規模変更を実施しております。通常規模型から大規模型Ⅰへの変更となりました。

年間の新規登録者数は41名、登録廃止人数は46名、総登録者数121名となりました。登録廃止の理由は、入院と施設入居が半数を占めており、次いで、状態変化による事業所変更となっています。

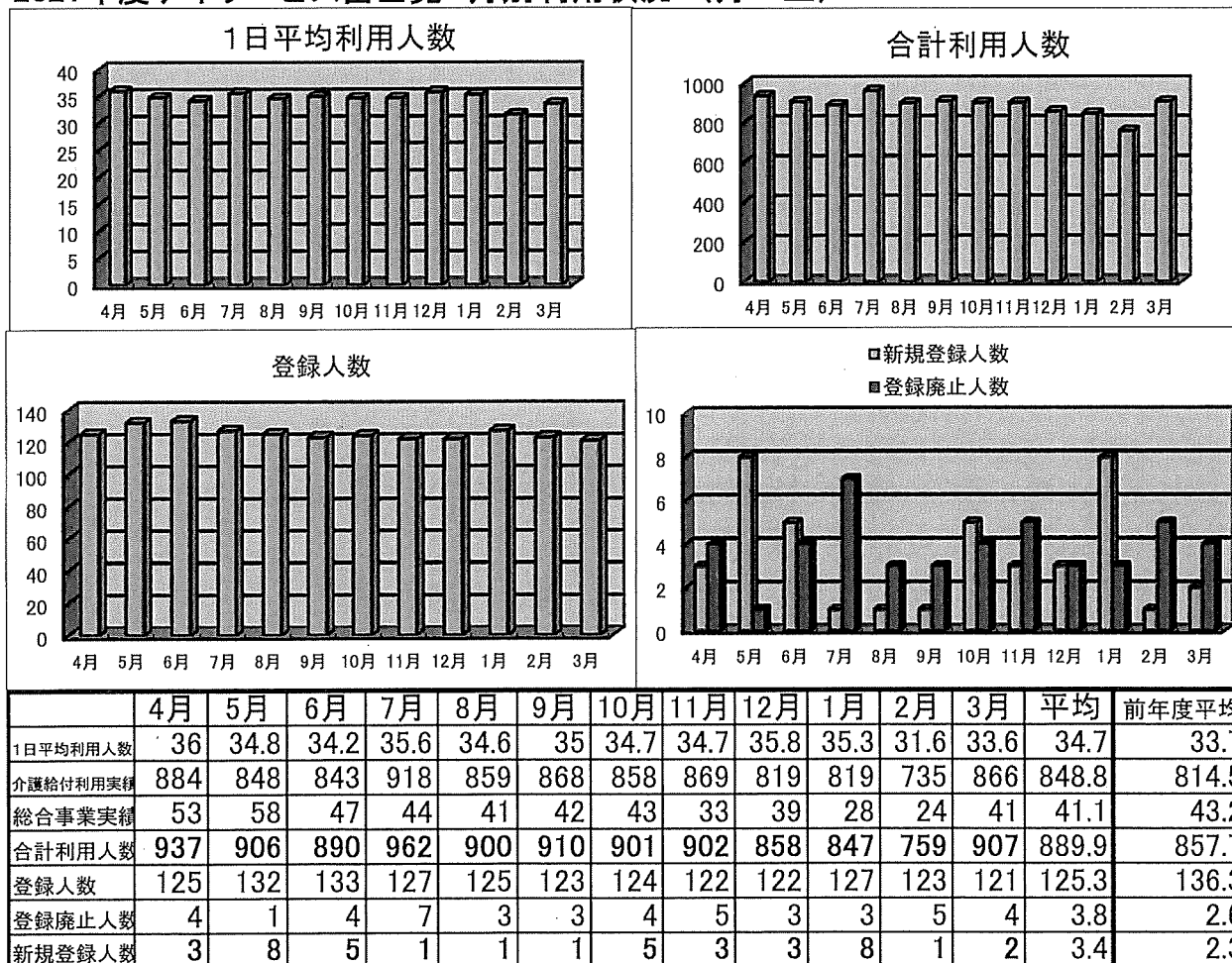
令和3年度年間介護度別利用率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
総合事業	10	12	9	9	9	9	8	7	8	7	7	9	104	7.5
要介護1	60	65	62	65	64	63	64	62	64	66	66	61	762	54.9
要介護2	27	26	25	25	24	24	27	30	28	29	29	27	321	23.1
要介護3	13	12	11	11	10	12	12	10	11	11	11	7	131	9.4
要介護4	5	6	6	6	6	7	7	6	5	5	5	5	69	5
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
請求人数	115	121	113	116	113	115	118	115	116	118	118	109	1387	100(%)

※総合事業内分け 要支援1→5名 要支援2→4名

2021年度デイサービス富士見 月別利用状況 (月～土)





むさしの園在宅介護支援センター





### 実績件数

- ① 総合事業対象者件数：月平均 19.3 件  
前年度より 1.0 件増
- ② 新規要介護件数 : 年間 43 件  
前年度より 23 件減
- ③ 要介護担当件数 : 月平均 200.7 件  
目標である月平均 200 件を達成

### 研修・会議

- ◆外部研修への積極的な参加
  - ・介護支援専門員更新研修及びレベルアップ研修
  - ・その他県や市の各団体が開催している研修
  - ・コロナ禍にて、オンライン研修への参加を行った。  
(別紙参照)
- ◆内部研修  
在宅部門オンライン研修を年 11 回開催。  
オンライン配信を中心に研修を行い、学びを深め、知識向上に努めた。
- ◆会議
  - ・毎週事業所内カンファレンスの実施
  - ・水野日常生活圏域会議  
コロナの影響により中止が多く、4 月、6 月、10 月のみ開催し参加。
  - ・入曽水野合同圏域会議 6 月、12 月開催し参加。

### 実施状況

- ・法人理念である「関わる全ての人を幸福にすること」を念頭に、利用者様が生きがいをもって在宅での生活を送っていただけるよう支援した。
- ・総合事業の対象件数が前年度に比べて 12 件増加した。
- ・例年実施しているわかばカフェ、ふれあいの会は新型コロナウイルス感染症の影響で実施を見送った。集合型の集まりは当面実施の目途が立たないため、別の方法で地域とつながる方法を検討する。

### 地域交流

- ◆ふれあいの会
  - ・例年 6 月、11 月に開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった。
- ◆わかばカフェ
  - ・ふれあいの会同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催は出来なかった。

### その他

- ◆社会福祉士会援助技術実習受け入れ  
新型コロナウイルス感染症流行に伴い見送り  
  
カリキュラムの変更に伴い、令和 4 年 2 月に 1 週間の受け入れを予定していたが、施設内で感染症対応を実施していたことから、受け入れを中止した。  
  
令和 4 年度も受け入れの依頼があるため、感染症の状況を踏まえて受け入れを実施する見込み。

別紙 会議及び外部研修

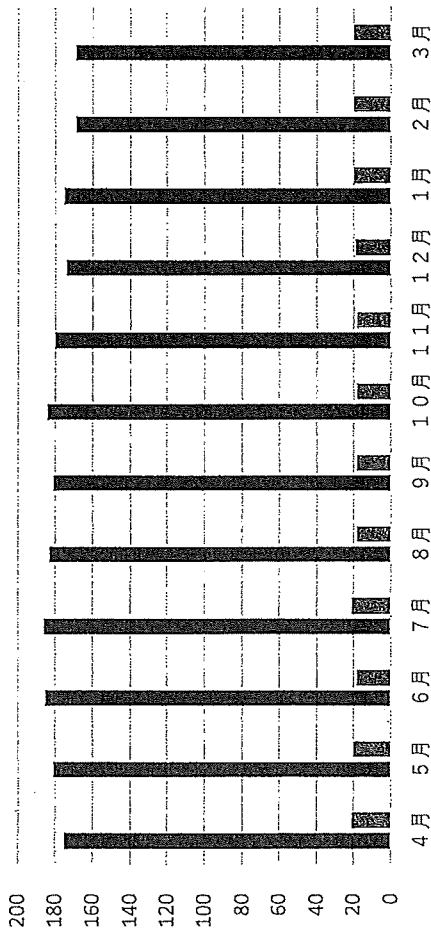
日程	外部研修名・外部会議名	出席者氏名
4月23日	水野地域圏域会議	椎名、高橋
6月8日	入曽・水野合同圏域会議	高橋
6月25日	水野地域圏域会議	須田
8月21日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ 「介護保険制度及び地域ケアシステムの現状」他 DVD視聴（8/18～8/21）レポート提出	森田、椎名
8月24日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ 事例「看取り等における看護サービス活用」提出	立野
10月22日	水野地域圏域会議	森田、須田
10月25日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ 事例「認知症に関する事例」提出	椎名、森田
11月9日	狭山神経内科病院 「今ふたたび神経難病の在宅人工呼吸療法を考える」 Zoomを用いたウェブセミナー	立野、三浦、椎名
11月13日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ Zoom研修	森田
11月27日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ Zoom研修	森田
11月30日	介護支援専門員レベルアップ研修 「ケアマネジャーが直面する法律相談について」 DVD視聴レポート提出	須田
12月7日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ 「社会資源、地域ケアシステムの構築等」 DVD視聴（11/20～12/4）レポート提出	立野
12月14日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ YouTube動画視聴課題提出	森田
12月17日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ Zoom研修	椎名
12月21日	入曽・水野合同圏域会議	高橋
12月24日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ Zoom研修	椎名
12月28日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅰ YouTube動画視聴課題提出	椎名

1月16日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ Zoom 研修	立野
1月23日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ Zoom 研修	立野
1月25日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ YouTube 動画視聴課題提出	立野
1月25日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ 「社会資源、地域ケアシステムの構築」 DVD 視聴（1/20～1/24）レポート提出	椎名、森田
2月3日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ Zoom 研修	椎名
2月8日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ Zoom 研修	森田
2月10日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ Zoom 研修	椎名
2月14日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ Zoom 研修	森田
2月14日	狭山市社会福祉協議会 福祉関係者が知っておきたい「親なきあと」への備えについて	立野、三浦、須田
2月18日	西武文理大学サービスイノベーション事業 「第1回誰もが安心して暮らせる地域づくりのヒント」 YouTube 動画視聴	須田
2月21日	西武文理大学サービスイノベーション事業 第2回誰もが安心して暮らせる地域づくりのヒント」 YouTube 動画視聴	須田
2月22日	介護支援専門員更新研修・専門Ⅱ YouTube 動画視聴課題提出	椎名、森田
3月18日	杏クリニック研修「多職種連携」	三浦

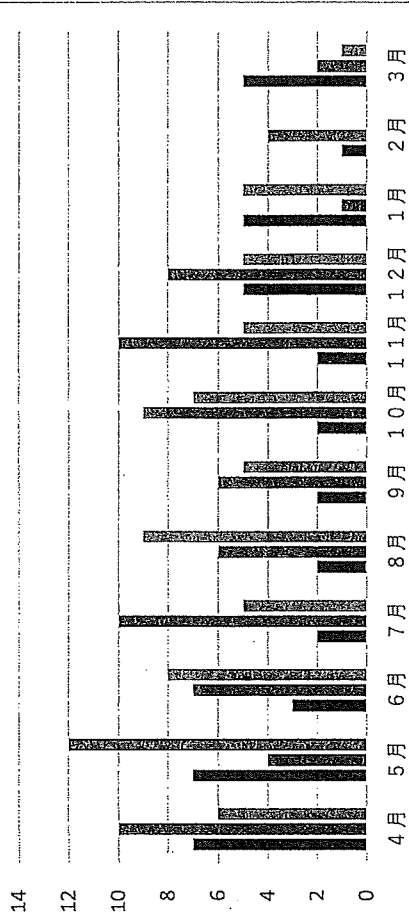
今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、外部研修の数は少なく、オンラインの研修が中心となった。当センターでもテレワークを導入し、感染症対策を強化した勤務体制をとった。会議も Zoom を活用したオンライン会議の開催を実施し、非常事態に備えた勤務体制がとれるように準備ができた。

# 介護保険利用状況

■ 当月介護保険利用状況 ■ 予防給付利用実績



■ 介護保険新規利用者 ■ 入院 ■ 退院



	前年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
介護保険実績															
前々月以前未請求分	0.4	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4	0.3
前月未請求分	2.2	1	2	4	2	3	5	3	3	4	1	2	1	31	2.6
当月介護保険利用状況	180.1	175	181	185	186	183	181	184	180	174	175	169	169	2142	178.5
予防給付利用実績	18.3	21	20	18	21	18	18	18	18	19	20	20	20	231	19.3
合計	200.7	197	203	208	209	204	205	205	203	197	196	191	190	2408	200.7
上限ケース数		224	224	224	224	224	224	224	224	224	224	224	224	2688	224.0
介護保険新規利用者	5.5	7	7	3	2	2	2	2	2	5	5	1	5	43	3.6
介護保険利用者(入院)	6.3	10	4	7	10	6	6	9	10	8	1	4	2	77	6.4
介護保険利用者(退院)	4.5	6	12	8	5	9	5	7	5	5	5	0	1	68	5.7
介護保険廃止利用者	4.2	2	2	1	2	3	5	2	4	7	3	2	0	33	2.8
事業所利用実績(%)														平均	
むさしの園デイサービス	35.2	35.5	34.5	33.9	30.7	31.8	30.6	32.1	30.4	29	28.7	29.1	30.3	31.4	
むさしの園デイサービス富士見	22.9	20.1	22.4	19.2	19.2	17.6	18.2	18.2	17.3	18.1	19.4	20.3	19.6	19.3	
むさしの園ヘルパーステーション	33.8	32.5	28.8	30.4	25.5	23.2	21.9	20.4	22.5	22.7	16.6	15	15	22.9	



むさしの園ホームヘルプサービス

活動状況

コロナ禍の中、一人一人が感染予防対策をしっかりと行いながら訪問しました。その中でも感染してしまったり、濃厚接触者となってしまうこともありました。感染拡大することなく最小限で抑えこむことができました。訪問時に利用者様の検温を行う等、体調確認も行ってきました。

自己成長

コロナ禍でもあり、ヘルパー会議の開催はできず、書面会議で行ってきました。コロナウイルスなど感染症や認知症についてなど、資料を添付してスキルアップが出来るようにしました。

クレーム等も全員で対応や対策を考え、次につながるよう情報共有しています。

サービス状況 ※ () 内は前年度合計

〔要介護度別利用人数 (年間利用)〕

要介護1 229人 (262人)  
 要介護2 64人 (95人)  
 要介護3 47人 (34人)  
 要介護4 4人 (3人)  
 要介護5 0人 (9人)  
 年間利用合計 344人 (403人)

〔狹山市介護予防・日常生活支援総合事業〕

訪問型サービスA

要支援1 39人 (83人)  
 要支援2 95人 (99人)

介護予防訪問介護相当サービス

要支援1 0人 (13人)  
 要支援2 13人 (20人)

サービス状況 ※ () 内は前年度合計

〔派遣サービス別延べ件数〕

身体介護 1214件 (1316件)  
 身体生活 991件 (850件)  
 生活援助 667件 (915件)

〔月間登録者数〕 <目標 60人>

平均 43.8人 (52.3人)

〔月間利用者数〕 <目標 50人>

平均 41.3人 (50.7人)

活動報告

10月よりサービス提供責任者が1名となってしまったため、利用者様を40名まで減らしました。

その為、月平均の請求額も昨年度の87%となってしまっています。

派遣に関しては生活援助の件数より身体生活の訪問件数が昨年度より増加となっています。

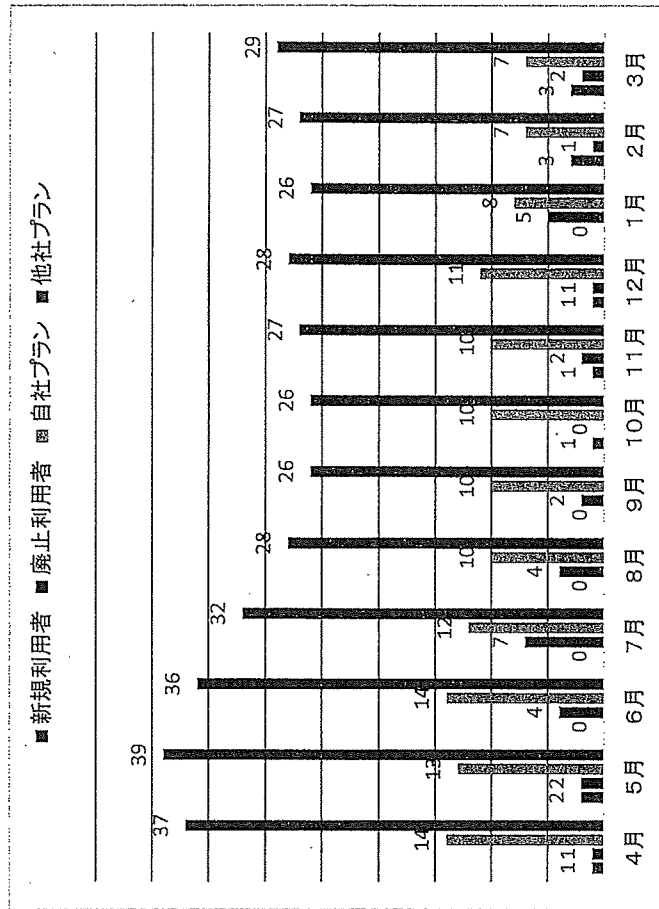
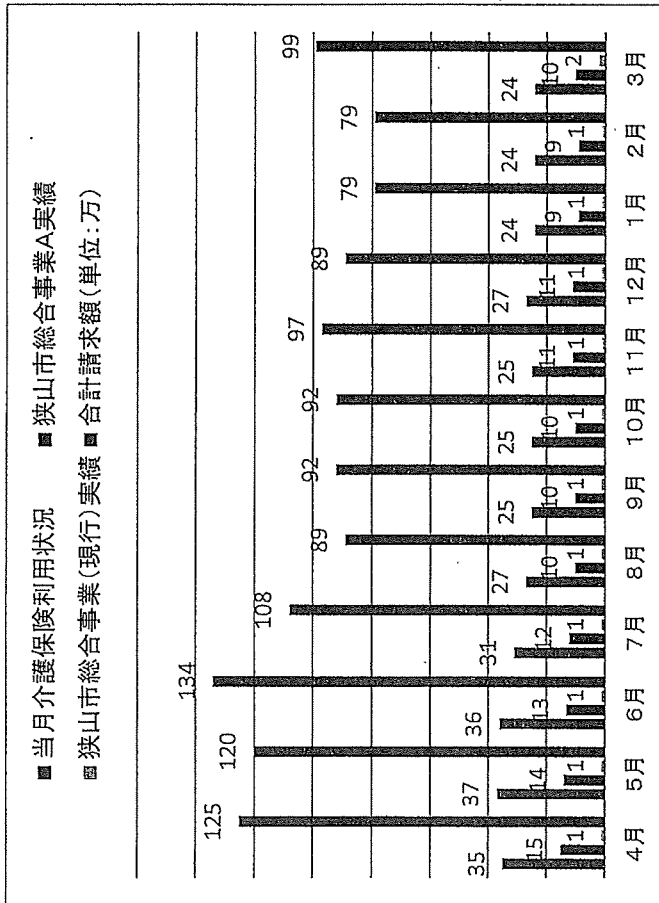
## ヘルパー会議・研修報告

(18:00~19:00) 開催

月	内 容	月 日
4月	ケアカンファレンス (書面会議) コロナウイルスについて	4/23
5月	ケアカンファレンス (書面会議) 緊急時の対応について	5/28
6月	ケアカンファレンス (書面会議) 熱中症・脱水について	6/25
7月	ケアカンファレンス (書面会議) 簡単レシピ (レシピ配布)	7/23
8月	ケアカンファレンス (書面会議) 記録の仕方	8/27
9月	ケアカンファレンス (書面会議) 認知症について	9/24
10月	ケアカンファレンス (書面会議) 足浴の必要性について	10/22
11月	ケアカンファレンス (書面会議) ヘルパーの仕事の範囲について	11/26
12月	ケアカンファレンス (書面会議) 老人虐待について	12/17
1月	ケアカンファレンス (書面会議) 感染症 (ノロウイルス) (インフルエンザ) (コロナウイルス)	1/28
2月	ケアカンファレンス (書面会議) 病気について (高次脳機能障害について)	2/25
3月	ケアカンファレンス (書面会議) 1年の振り返り	3/25



# R3年度 訪問介護利用者数推移一覽表



介護保険実績	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
前月までの未請求分	1.3	3	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	8	0.7
当月介護保険利用状況	32.8	35	37	36	31	27	25	25	25	27	24	24	24	340	28.3
狭山市総合事業A実績	15.2	15	14	13	12	10	10	10	11	11	9	9	10	134	11.2
狭山市総合事業(現行)実績	2.8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	1.1
合計請求額(単位:万)	114.8	125	120	134	108	89	92	92	97	89	79	79	99	1203	100.3
新規利用者	2.2	1	2	0	0	0	1	1	1	1	0	3	3	12	1.0
廃止利用者	1.7	1	2	4	7	4	2	0	2	1	5	1	2	31	2.6
自社プラン	15.5	14	13	14	12	10	10	10	10	11	8	7	7	126	10.5
他社プラン	35.2	37	39	36	32	28	26	26	27	28	26	27	29	361	30.1
登録者数	52.3	55	56	53	50	40	40	40	40	40	35	37	39	525	43.8

サービス推進課

部署目標 (令和3年度)	【1】採用強化：問合せ200件 面接75件	未達
	採用 介護 40名 (内新卒5名) 保育 5名 (内新卒2名)	未達 未達
	【2】人材定着支援：離職 前年度対比 -6名 (離職率3%減) 新卒フォローアップの実施	未達 達成

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
学校訪問	0	0	2	13	3	3	3	2	4	0	0	0	30
合同説明会	1	1	2	0	1	2	1	3	2	0	2	1	16
採用数	介護：31名 (内新卒4名) 保育：8名 (内新卒1名 ※事務・調理等含む)												
離職状況	離職者 介護：33名 (前年比+2) 保育：11名 (前年比-1) 計44名 (前年比+1)												
	離職率 16.7% (前年比+0.4%)												
	※介護：15.5% (前年比+0.9%) 保育：25.0% (前年比=1.7%)												

## 【採用目標】

- 学校訪問：感染者数増加により、大学・短大の多くが訪問が不要不急の来校避けてほしい話あり。  
高校は多くの学校が来校OKの中、NGを出している学校もあり。  
来校可能な学校への訪問、その他電話やDMによる対応によりカバーを図る。
- 合同説明会参加：埼玉県、ハローワーク、社協、学校等の説明会合わせて16回参加。  
中途・新卒ともに見学・面接に繋げ採用に繋がったケースあり。(中途2件、新卒1件)  
ユメックス：会社合併・コロナ禍等による方針変更により、現状合同説明会の開催は見込めず。  
→上記の県や社協等が主催する合同説明会へ積極的に申込み、穴埋めを図る。
- 法人ホームページ：ホームページからの採用はリスティング広告の反響多数、問合せ53件。  
令和3年度のホームページ応募者の入職率は中途：38.5%(前年比+4.3)、新卒：20.0%(前年比-2.2)  
光洋通信と連携し、令和4年度もホームページの精査・活用による採用を継続。
- 採用活動管理：昨年度の媒体や説明会参加など、予実管理で効果が高いものを分析・把握。  
その他、新しい媒体も取り入れ検証。(indeedの有料版・採用課金型カイゴジョブ等)  
採用活動費：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。予算は6,000,000円。  
→ 令和3年度 予算：6,000,000円、実績：6,054,757円 (-54,757円)  
下半期に離職者数増加により有料媒体を複数利用、紹介会社は利用せず予算外も視野に入れた為  
予算内目標は未達成となる。

## 【定着支援目標】

- 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談を実施。令和3年度9名、令和4年度5名。  
※状況に応じ、中途の新入職員面談もできるように準備しておく。
- サイボウズのワークフローの他、個人フォルダを活用した情報共有の実施・情報を把握することで、  
打合せや面談のスケジュールをスムーズに実施していく。

## 生活困窮者に対する相談支援事業

今年度の活動

担当相談員の増員

・相談開始から3か月以内に支援は  
終結しています。

・年間相談件数 2件

相談元：

トータルサポート推進課 2件

総支援額：88,539円

・生活困窮支援の相談員は3名体  
制で運営しております。

支援方法について

本年度は2件で、1件は狭山市役所が主導で動いている事案であり支援の方向性がすべて決まっている状態での支援でした。

もう1件は狭山市こども福祉課、保健センター、トータルサポート、精神病院の方、フードバンクなど多くの機関と連携をし支援を実施しました。本人の意思を尊重して対応できたと思います。

研修、会議参加・地域福祉活動

フードバンク狭山への食料の寄付活動 6回

(内1回は県内の法人との連携により食料の調達を行いました)

市内のセーフティネット事業者との会議 1回

彩の国あんしんセーフティネット事業ブロック会議 1回

彩の国あんしんセーフティネット事業研修会 1回

ひまわり保育園

令和3年度の目標	<p>【1】入園児を7月までに15名（稼働率79%）を達成する。</p> <p>【2】保育の質の向上：キャリアパス研修を積極的に受講する。常勤職員を中心に内部研修を実施する。</p> <p>【3】離職防止：常勤・非常勤に対する面談の実施。常勤職員1名の採用。</p>
----------	---

令和3年度の入園児実績

	クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	定期的	0歳児	0	0	1	2	2	2	3	3	3	3	3
1・2歳児		10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11
3歳児		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳児		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳児		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		11	11	12	13	13	13	15	15	15	15	15	15
稼働率		58%	58%	63%	68%	68%	68%	79%	79%	79%	79%	79%	79%
一時預かり 利用可能数	8	8	7	6	6	6	4	4	4	4	4	4	

活動報告

【入園児目標】

7月までに15名は達成できなかった。10月に15名を達成した。  
園児の利用数は過去最高の稼働率となった。

【保育の質の向上】

副主任がキャリアパス研修のマネジメント研修を受講することができた。  
内部研修は常勤職員が講師となって年10回開催することができた。

【離職防止目標】

○常勤会議で情報共有を行うことができた。

また年間の休暇取得目安を作成したことで、常勤は特別休暇を全員使用することができた。  
有給取得率も84%に向上した。

○非常勤には、1月に賞与を支給しモチベーションの維持を行った。

面談を通して個々の悩みや課題を確認する事が出来た。

○本年度の離職者数は2名。

1名は親の介護のため、1名は自己都合で退職でした。


○常勤職員の追加採用の中止。

理由として、令和3年度は現人数でシフトが回る適正人数で非常勤との雇用契約を実施できたこと。  
また令和4年度に育休復帰予定の保育士が1名いるため次年度人件費が上がるが見込まれたためです。

むさしの森保育園



部署目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園全体の稼働を年間 平均98%（弾力運営含む）</li> <li>・一時預かり事業を年間利用者 延べ1500名を目標とする</li> </ul>
------	--

運営実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通常保育稼働実績	86	86	89	92	93	93	94	94	94	94	94	94	91.9
稼働率	96%	96%	99%	102%	103%	103%	104%	104%	104%	104%	104%	104%	102%
一時預かり事業実績	81	87	119	99	63	69	132	139	152	124	66	131	1262
年間計画													
外部授業の導入													
	チャイルドラーニングステップ			英語であそぼう（ECC）						3 4 5 歳児			
季節行事	入園式、親子プレイデイ			雨の日散歩、		夏祭り、敬老会、（むさしの園、わかば訪問）							
				ハロウィンパーティ		運動会、クリスマス会、発表会、卒園式							

行動目標

【部署所目標】

- ・稼働を年間平均102%を達成。  
4月は86名スタートを想定しており、感染症の影響を考慮しつつ上期で定員90名の受入れを想定  
新型コロナウイルスの影響により、登園自粛等もあり、入園希望が減少傾向にあった。
- ・一時預かり事業は年間利用者1500名は未達成となった。  
新型コロナウイルスの影響を受け、年間利用人数が減少。延べ人数1262名となった。

【行動目標】

- ・園長変更に伴い、組織体制の変更  
園行事が以前より増加、また多世代交流の場を増やし、ご利用されている方々との関わりを増やすことで共に成長し合える経験をし、笑顔や楽しい時間を共有することができた。  
子どもたちにとっても良い経験を得る事ができた。（敬老会、ハロウィン、運動会）
- ・園庭開放を地域子育て支援センターちゃっぼと共同で実施。年5回  
子育て支援拠点作り及び園庭開放を実施。イベント（地域交流室にてイベント開催）  
狭山市管轄の子育て支援センターちゃっぼと共同にて園庭開放を実施。イベントも1回開催
- ・園庭開放を利用してくれたご家族がその後一時保育を利用したり、ちゃっぼさんとの連携によって
- ・ちゃっぼさんと併用してくれる子や口コミで利用される方の利用も増加した。  
子育て支援の窓口として宣伝効果を高め、一時預かり事業の集客へ繋がられた。  
しかし、新型コロナウイルスの影響にてキャンセル等相次いだが、年々利用人数が増加傾向にある。

・外部授業チャイルドステップの導入1回/月（正課の導入）

園児の就学準備や職員のスキル向上を目的として導入。

ECCジュニアボランティアの受入れ 1回/月 近隣のECCホームティーチャーの申し入れから月1回のボランティアを導入（料金をお支払いしている）

小学校就学前に向けて、文科省が2018年に制定した養っておきたい10の姿を取り組めるカリキュラムを学び子どもたちが日々成長している様子が見られた。

令和4年7月より1000円の実費徴収する旨、保護者懇談会にて説明済（3、4.5歳児クラス）  
森林ゾーンでの遊びの構築の為、本気であそぶ子応援団のよる研修指導を依頼。

良き学びへと繋がり、職員、こどもたち更に保護者より好評を得た。

・保育士の研修を充実

キャリアパス研修と職員のスキル向上を目的とした研修を中堅向けに実施

キャリアパス研修を受けられる専門職職員（副主任、専門リーダー）は、受講済。

コロナの影響によりオンライン、会場との人数制限があった為、受講できる研修が限られていた。

園全体では、就学にむけての10の姿について、SIDSチェック（乳幼児突然死症候群）について研修を受講。職員が再度見直し、普段からのチェックを怠らない事を再認識できた。

・年間行事の見直し

感染予防の観点から保護者参加の行事を減らし、インスタグラムでの配信を増やす

当初計画していたよりは、多くの行事を行うことができた。

4月：入園式、親子プレイデー、5月：縦割り保育活動、散歩、6月：保育参加、雨の日散歩

7月8月：夏祭り（保護者も数名参加）9月：敬老会（はがき投函）むさしの園、わかば訪問

10月：運動会、ハロウィンパーティー（むさしの園、わかば訪問）11月：プラネタリウム

12月：クリスマス会（マニングサンタさんとのコラボ）大変好評であった。来年度も継続希望

1月： 1月：お正月遊び、2月：お楽しみ会（発表会）3月：お別れ会、卒園式